

わたりだ

渡田小学校教育目標
やる気いっぱい
笑顔いっぱい
元気いっぱい
川崎市立渡田小学校

2025. 1. 10

みどし
巳年

学校長 楠田 典子

昨年2024年辰年は、能登地方で発生した大地震と、被災した人々への救助物資を輸送する飛行機の羽田空港での事故という2つの衝撃的な出来事で始まりました。一年で一番めでたいとされる日が、一年で一番悲しい日へと変わってしまった方々がたくさんいることに、心が痛みます。私には特に直接被災地の方々のために何かできることはありませんが、悲しみを抱えた大勢の人の心を思い、心を寄せることだけは、これからも忘れないようにしたいと思います。

今年2025年は巳年、「巳」は十二支の半分の6番目で、蛇を表します。一般的に蛇には「怖い」などのネガティブなイメージが先行しがちですが、年賀状作りで蛇を描いた様々なイラストを見ると、かわいくデフォルメしやすい生き物だということにも気付かされます。蛇は古来より豊穡や金運を司る神様として祀られることも多く、今年のパワースポットの特集などで書籍やテレビ番組で取り上げられている蛇の名がつく神社は、日本全国に驚くほどたくさんあります。蛇は脱皮を繰り返すたびに表面の傷が治癒していくことから、そのたくましい生命力に、医療、治療、再生のシンボルとして縁起の良い生き物とされています。それも、たくさんのお社で祀られるようになった理由の一つかもしれませんね。また、「巳」の字は胎児の形から作られた文字と言われ、「産まれる」「将来がある」といった意味や、読みが「み」であることから、お金が身に付く、努力が実するという意味合いもあるそうです。さらに、蛇が脱皮することから、巳年は「新しい自分に生まれ変わる」という意味をもつ年であるとも言われています。

では、そんな素敵なイメージがいっぱいの巳年である今年は、一体どんな年になるのでしょうか。2025年は十干十二支という古代中国で生まれた暦法によると、巳年の中でも乙巳（きのとみ）という年に当たり、これまでの努力や準備が実を結び始める時期を示唆しているそうです。過去の乙巳の年といえば、かなり昔の645年（大化の改新、確かに「乙巳（いっし）の変」という別名がありました！）、60年前の1965年（東京オリンピック後の好景気が始まる）など、確かに何かを実を結んだと言えるような出来事が起きている年かもしれません。さて皆様は、今まで準備や努力をしてきたことで今年「実」になりそうなことは何か思い当たるでしょうか。

渡田小学校では教職員一同、子供たちがわかる授業、学ぶことを楽しいと感じる授業づくりを第1目標として頑張ってきました。校内研究ではこの2年間「やってみよう！どんどん学んでぐんぐん伸びる、あったか渡っ子算数」というテーマで、渡っ子たちが少し苦手だと感じている算数をあえてターゲットにし、授業改善に励んできました。渡っ子たちの持ち味であるコミュニケーション力の高さを生かし、クラスみんなで協力し、知恵を出し合いながら学んでいく姿を追究してきたつもりです。その成果が今年、少しずつでも表れてくれることを期待しています。まずは、先日実施した学校評価アンケートに注目していきたいと思います。そのほかにも、一人一人の子供たちは、それぞれが自分の目標に向かって努力したり、準備したりしていることが何かしらあると思います。6年生の中には、中学受験という道を選んで努力を重ねた子供たちもいますね。もうすぐ本番です。今年はそれらがぜひ「実」になる「巳」年になりますように・・・。